

**スカイリー、無線ミドルウェアの新製品
「DECENTRA II」をリリース
～ サブ GHz 対応、M2M製品への組み込みも容易に ～**

株式会社スカイリー・ネットワークス（本社：東京都港区、代表取締役：梅田英和、以下スカイリー）は、かねてより開発をすすめておりました無線通信ミドルウェア「DECENTRA II」を本日発表しました。

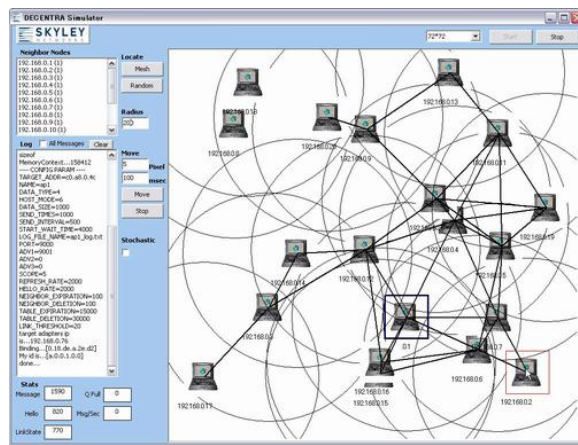
DECENTRA II は、当社製品で実績のある通信ミドルウェア「DECENTRA」をベースに、ワイヤレス通信機器に新しい付加価値を与えるために開発されました。多彩な要素技術をひとつのミドルウェアに凝縮し、革新的なワイヤレスアプリケーションの開発を可能にします。

DECENTRA II の主な特徴

- ・ 特定のデバイスとだけ通信を行う「ペアリング」機能
- ・ ペアリングを連鎖させて安定したネットワークを形成する「ペアリングチェーン」
- ・ 中継端末でありながらスリープを行う「スリープルータ」機能
- ・ パケット単位で通過経路が把握できる「ルートトレース」機能
- ・ ミリ秒単位で迂回ルートへの切り替えを行う「高速経路スイッチ」
- ・ 時計を同期させて協調動作を行う「仮想時計」機能
- ・ デバイス同士を一定距離近づけると通信が始まる「タッチ・アンド・ゴー」機能
- ・ 端末台数が何台に増えてもルーティングテーブルが一定量ですむ「スマートルーティング」
- ・ OS 不要、8bit クラスマイコンでの動作が可能な省メモリ・コードサイズ設計

メッシュネットワークをサポートしていながらコードサイズは 45K、必要メモリ容量 4K と、ZigBee™ と比較しても半分以下のサイズとなっており、きわめて少ないリソースで高度なワイヤレス通信を実現できます。

	ZigBee	DECENTRA II
コードサイズ	100KB 程度	45KB
必要 RAM サイズ	8KB 程度	4KB～ (MTU 等の条件により増減)
テーブルサイズ	端末台数に応じたメモリが必要	端末台数によらず一定量での運用が可能
物理・MAC 層	802.15.4 (2.4GHz)	自由に選択
団体への加入	必要	不要
ルータのスリープ	不可能	可能
デバイスタイプ	コーディネータ、ルータ、エンドデバイス	タイプレス
規格	標準	独自規格



DECENTRA II によるネットワーク形成の様子
(プロアクティブ駆動の例)

スカイリーは、DECENTRA II 対応製品の第一弾として、株式会社ルートレック・ネットワークス社「H-Bird」と組み合わせた 802.11b 無線 LAN バージョンの提供を開始します。DECENTRA II を「H-Bird」に標準対応させることで、煩雑な移植の手間を省き、評価、プロトタイプングから量産までのリードタイムを、最小限に抑えることが可能になります。さらに対応製品第二弾として、950MHz 帯をつかったサブ GHz 対応版を 2011 年 12 月に提供開始する予定となっています。

DECENTRA II は無線規格を自由に選択できる仕組みを持っており、IEEE802.15.4(2.4GHz)、IEEE 802.15.4g,e(900MHz)、EnOcean (315MHz)、特定小電力 (400MHz) をはじめとして、今後、お客様の要望に応じた様々な無線規格への移植を積極的に行って参ります。とりわけ、急速な拡大が期待できる組み込み無線 LAN 市場に対しては積極的なサポートを行っていきます。

本製品は「もっと自然で便利なワイヤレスコミュニケーションを」というスカイリーのビジョンを飛躍させるための第 2 世代戦略製品であり、今後も当社はあらゆる無線デバイスがシームレスに接続し人々の生活を支援する世界の実現を目指して参ります。

◆本件に関するお問合せ◆

株式会社スカイリー・ネットワークス <http://www.skyley.com>

TEL. 045-470-1544 FAX. 045-470-1545

広報担当 濱田 press@skyley.com

*本文中に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。